

## 富山大学 国際機構「日本語プログラム」上級クラス

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 授業科目名                   | 日本文化C1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 担当教員                    | 中河 和子 (NAKAGAWA, Kazuko)                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 開講学期曜限                  | 前期 (春期)・木曜日 4 時限                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 対象                      | 〔総合日本語コース〕 日本語日本文化研修留学生、協定校からの交換留学生<br>〔日本語課外補講〕 全学の外国人留学生、外国人研究者                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 単位数                     | 単位は出ません。総合日本語コースでは国際機構長名で履修証明書（成績記載）を発行します。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 授業のねらい                  | 留学生として、日本社会を出来るだけ分析的に観察する試み（情報の読み取り・整理など）を、いろいろなメディア media（TV 番組、アニメ、漫画、新聞・雑誌記事、自治体広報など）を用いてする。日本社会を読み解くのに役立つ身の回りのリソース resource をまだ活用しきれていない留学生に、それを活用する手立てを与える。さらに、そこから得たものを日本語で情報発信する力を養成する。現代日本社会を観察する手立てとして、学生の興味もはかりながら、『日本の若者』『日本の技術－環境問題－』『ジェンダーについて』等を取り上げる。学期中に 3 回、日本人学生とテーマについて対話を行い、異文化理解とコミュニケーションのスキル skill をお互い高め合う。 |
| 達成目標                    | 1 つのテーマをなるべく多角的に捉え、日本社会に対してすでに持っている知識や、自文化への固定的な見方を洗い直してみる。日本語の訓練としては、自身の述べたいことをまとめた談話として構成する力を養う。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 授業計画<br>（授業の形式、スケジュール等） | 1 週目：オリエンテーション、本授業で扱う「文化」について<br>＊取り上げるテーマ、順序は学生の興味などにより多少変動がある。<br>＊学期中に3回、日本人学生とテーマについて対話を行う。<br>2～3 週目：「人権と差別」<br>4～6 週目：「日本の若者」<br>7～8 週目：「サブカルチャー（アニメ、漫画など）」<br>9～11週目：「日本の技術－環境問題など－」<br>12～14週目：「自文化をふりかえる」<br>15週目：「まとめ」                                                                                                    |
| 授業時間外学修<br>（事前・事後学修）    | 常日頃、日本の社会問題に関する新聞記事や TV ニュースに関心を持ち、視聴するようにしてください。<br>授業で学んだことを、必ず復習してください。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| キーワード                   | 中上級日本語 現代日本事情 文化リテラシー                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 受講上の注意                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 教科書・参考書等                | 使用しません。毎回プリント等を配布します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 成績評価の方法                 | 授業への参加度:30%、レポート:30%、発表:40%<br>（欠席が多い場合は評価対象外とします。）<br>＊日本語課外補講は成績評価を行いません。出席回数、試験の点数を記録します。                                                                                                                                                                                                                                        |
| 関連科目                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 備考                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |